



校訓

気づき

考え

行動する

学校教育目標

自ら問い 学びをつなぎ 未来を創る 児童生徒の育成

めざす学校像

- 新しい文化を創造する学校
- 笑顔溢れ、一人一人が輝く学校
- 地域に根ざした学校

めざす児童生徒像

- 自ら問い、考え、表現する子
- 仲間や地域と学びをつなぐ子
- 学びを未来や社会に生かす子

めざす教師像

- 熱意と使命感を持つ教師
- 協働する教師
- 信頼される教師

重点目標

- (1) 学力の向上
 - ① 9年間の学びの連続性を生かした主体的・対話的で深い学びの実現
 - ② MetaMoji等のICTツールを「考える道具」として活用
 - ③ 教育課程の柔軟化を通じた教員の協働と専門性の向上
- (2) 豊かな心と健やかな体づくりに向けて
 - ① 人権・同和教育の実践と「考え議論する道徳」の推進
 - ② 部活動ガイドラインに沿った活動の充実
- (3) 家庭・地域とつながり、地域を元気にする学校づくり
 - ① 保護者や地域への学校情報の積極的な発信
 - ② CS(学校運営協議会)を核とした学校と地域の連携・協働

【個性の伸張】

社会とつながるキャリア(つなぐ)】

- 対話的な学びと表現
- 地域と共創する志教育
- 自治能力と社会貢献

【基礎基本の徹底】

社会人としての基盤(支える)力】

- メリハリある日課
- 確かな学力の定着
- 基本的生活習慣の醸成

【自己教育力の育成】

未来を拓くスキル(「拓く」力)】

- 東陵学園モデルの推進
- 個別最適な学びの実現
- 挑戦する心の育成

校内研究

主 題：子どもが自ら問いを立て、仲間と共に未来を創る「東陵学園モデル」の構築
副主題：～学びの連続性を意識した効果的な指導の在り方を探る～

基盤：人権・同和教育

主 題：一人一人を大切に人権・同和教育の研究
副主題：一反差別に向けて主体的に行動できる生徒の育成をめざして～

地域と創る「未来の学校」プロジェクト

- 1 「AM(アクティブ・モジュール)」：読み聞かせ・フッ素・掃除による心身の調律。
- 2 「東陵タイム(補充・情報)」：5分短縮で生み出す、自分を磨く20分。
「MetaMoji×対話」：佐賀県をリードするICT活用と深い学びの融合。

CS学校運営協議会

人権・同和教育(不動の基盤)

東陵9年間の学びの連続性